



联合国
粮食及
农业组织

FOOD AND
AGRICULTURE
ORGANIZATION
OF THE
UNITED NATIONS

ORGANISATION
DES NATIONS
UNIES POUR
L'ALIMENTATION
ET L'AGRICULTURE

ORGANIZACION
DE LAS NACIONES
UNIDAS PARA
LA AGRICULTURA
Y LA ALIMENTACION

منظمة
الغذية
والزراعة
للأمم
المتحدة

Liaison Office in Japan

5F Yokohama International Organizations Center, Pacifico-Yokohama,
1-1-1, Minato Mirai, Nishi-ku, Yokohama 220-0012, Japan

Tel. (045) 222-1101
Facsimile: (045) 222-1103
E-Mail Address: FAO-LOJA@FAO.ORG

LOJPR08/03- No.108

プレスリリース

最貧国の穀物輸入代金の急増続く、各国政府は影響抑制に努める

2008年の穀物生産が見通しどおりに拡大すれば世界の緊迫した供給は緩和の可能性も

ローマ、2008年4月11日

世界の最貧国の穀物輸入代金は2007-2008年に56%上がると予測されている。これは2006-2007年の37%という大幅な増加に続く更なる急増になる、とFAOは11日述べた。

アフリカの低所得食料不足国の穀物輸入代金はFAOの最新の「穀物見通しと食料事情」報告書によれば74%増加すると予測されている。増加は国際的な穀物価格、輸送費用および石油価格の急騰に起因する。

国際的な穀物の価格は堅調な需要と枯渇した国際的在庫を反映し、過去2ヶ月間急激な上昇を続けた、と報告書は述べた。主要輸出国による新規輸出規制の導入で米の価格が最も高騰した。報告書によれば3月末には小麦と米の価格は昨年比で約倍増し、とうもろこしは三分の一上昇した。

FAOは食料価格急騰イニシアティブ(ISFP)を開始し、脆弱な農民が地域の食料生産を増加できるようにするため価格上昇の影響を受けた貧しい国への技術、政策援助を行う。現場での活動はブルキナファソ、モーリタニア、モザンビークおよびセネガルで始まりつつある。FAOはそのほか政府が農業生産を増加するための行動や戦略を策定するのを支援する。世界食糧計画、IFADその他のパートナーたちとFAOは食料市場情報ユニットを設立し地域、国別および国際的レベルでのさまざまなデータを分析しこの情報を伝達する。FAOはこの活動に1700万USDを計上している。

国内の食料価格が社会不安を誘発

国内食料市場への国際的価格の影響を抑制するための穀物輸入・輸出国双方の政府における輸出規制、補助金、関税軽減、価格統制などの政策手段の発動にもかかわらず、パン、コメ、とうもろこし製品、ミルク、油、大豆などの基本食料の価格が多くの開発途上国でここ数ヶ月で急激に上昇した。

食料の価格上昇に反対する暴動がエジプト、カメルーン、コートジボワール、セネガル、ブルキナファソ、インドネシア、マダガスカル、ハイチで先月報告されている。パキスタンとタイでは軍隊が田畑や倉庫からの食料強奪を防止するために配置された。

「食料価格インフレは貧しい人たちに一番打撃を与える、なぜなら貧しい人たちは、より豊かな人々に比べて支出に占める食費の割合がずっと高いからだ」とFAO世界食料情報早期警報システム責任者アンリ・ジョセランは述べた。「食料は先進国では消費支出の10-20%を占めるにすぎないが、途上国では60-80%にもなり、多くのこれらの途上国は食料の純輸入国なのだ。」

2008年見通し：生産増加

FAOの2008年最初の世界穀物生産見通しによれば2008年の生産は史上最高の21億6400万トン、対前年比2.6%の増加と見込まれている。増加の大部分は主要生産国における作付け増加に伴う小麦によるものである。

「2008 年に見通し通りの生産増が実現すれば、現在の逼迫した世界穀物供給状況は 2008－09 年期には緩和できるかもしれない」と報告書は述べた。

しかし天候に大きく依存する、と FAO は警告する。去年の現時点での見通しは実際の結果よりはるかに楽観的なものであった。不順な天候状況によりオーストラリアでは作物が大打撃を受け、また、その他の多くの国々、特にヨーロッパやでも収穫が減少した。

「良好な天候はいままで以上に重要になる。なぜなら世界の穀物の在庫は枯渇している。」と報告書は述べた。

FAO の見通しによれば世界の食料在庫は 2007 年－2008 年、25 年来の低水準である 4 億 500 万トン、前年度のすでに低減している水準より 2100 万トン、5 %の減少となっている。

「特に輸出国において天候不順に起因する大幅な生産減が起これば、現在の逼迫した市場状況を長引かせ、価格は一層の上昇を示し、すでに多くの国々が直面している経済的困難を悪化させる」とレポートは述べた。

FAO はすべてのドナーと国際金融機関に支援増加または食料価格の高騰によって悪影響を受けている国における実施中の援助の見直しの検討を要請している。暫定的な推定によれば価格高騰に対応して政府がプロジェクトを実施するのに必要な追加資金は 12 億 USD から 17 億 USD である。この追加資金の供与は貧しい農民にとって投入財と資本財へのアクセス、次の作農期の食料供給の増加などへの重要な支援になりうる。

報告書によれば世界では 37 カ国が現在食料危機に直面している。対外援助を必要としている国のリストはこちら (<http://www.fao.org/docrep/010/ai465e/ai465e02.htm>)。

連絡先： FAO Media Office
FAO-Newsroom@fao.org
(+39) 06 570 53625

Teresa Buerkle
Media Relations, FAO
teresamarie.buerkle@fao.org
+41 22 917 27 70